

令和7年度 教科研修会Ⅱ 技術・家庭科（技術分野） 授業の様子

題 材 名	計測・制御システムで世の中の人の困りごとを解決しよう		
授 業 学 級	3年A組（38名）	授 業 者	堀内 直人
主 眼	計測・制御システムによって解決できる世の中の人の困りごとを考える場面で、「micro:bitでできること」と「SDGsの目標」との重なりに着目して、「どのユーザー」の「どのような困りごと」を「どのような方法」で解決するのかを検討する活動を通して、情報の技術によって解決することができる問題を見だし、課題を設定することができる。		

【本時の様子】

世の中の人の熱中症にかかわる問題を解決したいと考えたグループでは、ターゲットを中学生とし、学校における熱中症対策を検討しました。話し合う中で、「学校内にはエアコンがあるため、ある程度の対策はできている。しかし、学校外での対策には課題があるのではないか。」と方向付け、システムの設置場所を「学校の外」としました。そこで、人の有無によってミストシャワーを動作させるという解決方法を見いだしました。

全体共有を通して先述のグループの考えを知った他のグループでは、『いつ』『誰が』『どこで』といった5W1Hの視点から自分たちの考えを見直し、より具体的な場面を想定して世の中の人の困りごとの解決策を検討する姿が見られました。

今後は、本時決め出した解決策をイラストやフローチャートで具体化し、プロトタイプの制作に移ります。どのような計測・制御システムが開発されるのか楽しみです！



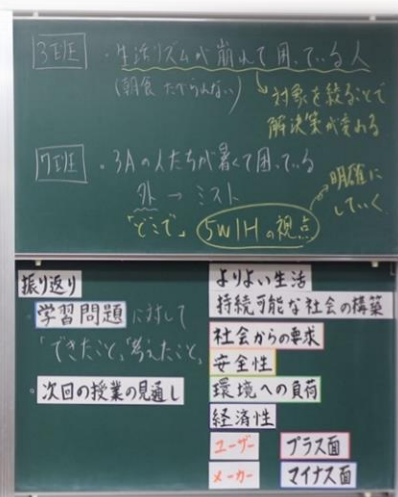
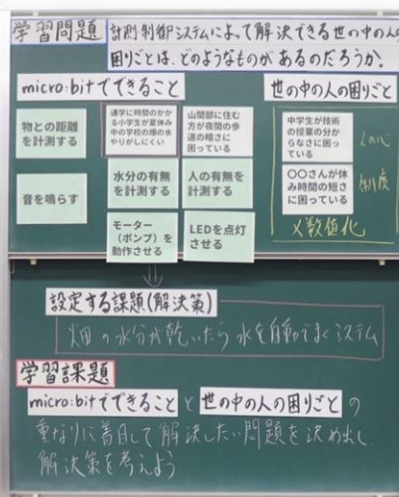
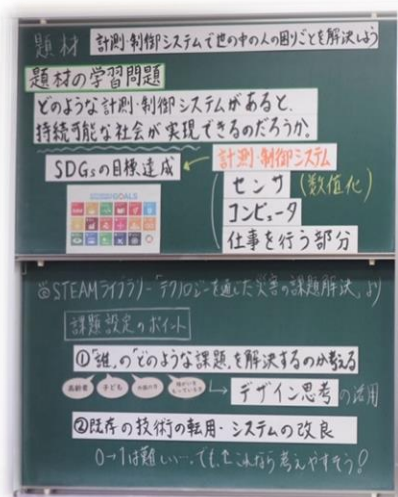
友との意見交換の様子



全体追究の様子



生徒と教師の対話の様子



本時の板書